

笠間地区東コース

バス停【小菅ヶ谷町】【笠間十字路】

コース ①新橋⇒②水神橋⇒③水神祠⇒④笠間町公園⇒⑤起立社⇒⑥神明社⇒
 ⑦馬頭観世音⇒⑧山王養神石祠⇒⑨笠間中央公園⇒⑩笠間中央公園遺跡跡
 ⇒⑪上町庚申塔⇒⑫今泉不動道標⇒⑬青木神社⇒⑭笠間稲荷⇒
 ⑮二十三夜供養塔と石祠⇒⑯御蔵坂⇒⑰五輪塔 板碑⇒
 ⑱四國巡礼成満記念塔⇒⑲法安寺⇒⑳今泉不動道標⇒㉑馬頭観世音⇒
 ㉒カニ井戸⇒㉓花の木橋

解説 ①新橋 現在の橋は昭和56年建替。鎌倉時代、出立川（いたち川）を渡って奥州への出入り口として、重要な橋であった。古道は本郷台小学校から、日限山、秋葉、鶴ヶ峰へと続いている。



①新橋



②水神橋

②水神橋 新橋から下流に向ういたち川にかかる橋。笠間町公園側に水神祠がある。



③水神祠



④笠間町公園

③水神祠 昔、笠間西部の田圃は大雨が降ると泥田となるので、川に堰を設けたり管理者をおいた。水神の怒りを鎮めるために祠を建立した。

④笠間町公園 水神橋のすぐ隣にある公園。子供向けの遊具のある場所と軽スポーツも可能な広い場所がある。

⑤起立社 幕末から明治にかけて非常に盛んになった御嶽信仰によって建てられた。社会不安がつのり、動揺する民衆を「山岳信仰」



⑤起立社



⑥神明社

に向けさせ村の崩壊を防いだ。階段 30 段。

⑥神明社 登り口左側の手洗い場に神明社と菊の御紋が描かれている。右側面に文化9年正月と刻銘。左の階段を登ると屋根型の石祠が祀ってある。本社は伊勢の皇大神宮。祭神は天照大神。笠間十字路の南側の崖上にある。昭和50年頃迄は社殿があったが、青木神社に合祀された。現在は石碑（昭

和 51 年建立) と銅葺きの祠は祀ってある。階段 63 段。

⑦馬頭観世音 笠間山王

町内会掲示板の
右側にある。昔は
馬を農耕馬や交
通手段として大
切にしたので、道
の辻に馬頭観世



⑦馬頭観世音



⑧山王賽神石祠

音を祀り、死んだ馬を慰めたり交通安全を祈ったりした。

⑧山王賽神石祠 馬頭観世音左に 10m 進むと右側に石祠と「ごろ石」が残されている。ここで昭和 40 年頃まで「どんど焼き」が行われていた。現在は青木神社で行われている。

⑨笠間中央公園 平成 11

年に発掘調査が
開始され、縄文・
弥生時代の住居
跡など、貴重な遺
跡が出てきた。園
内に説明板ある。



⑨笠間中央公園



⑩笠間中央公園遺跡

平成 15 年に中央公園となり、スポーツやドッグランなどで大勢の方が楽しんでいる。上り階段 64 段。

⑩笠間中央公園遺跡 平成 11~12 年発掘調査。柏尾川の支流いたち川南岸 30~35m。眺望の良い丘陵地。弥生時代、中世時代の遺構(竪穴住居跡 53、掘立柱建物跡 12、方形溝墓 4、道路状遺構 4 条、鍛冶遺構 1 基) 遺物(弥生土器は師器、須恵器、石鏃、管玉)。道路遺構は鎌倉街道。

⑪上町庚申塔群 鎌倉道

の仲宿(現在は上
町)に、庚申塔が
4 墓、地蔵菩薩像
1 基の石仏が車
の往来を眺めて
いる。右隣の説明



⑪上町庚申塔



⑫今泉不動道標

書きによると右側から丸頭角柱庚申塔 中村 万延元年(1860 年)、笠付角柱塔青面金剛面 二十一講中 文政 6 年(1823 年)、三角頂碑庚申供養 正徳 4 年(1714 年)、三角頂碑庚申供養 笠間村二十三人同行中 延宝 8 年(1680 年)、地蔵像 年代不明 円光背浮彫坐像、この庚申塔は笠間村の出入り口に位置し、魔除け、厄除けとして祀られた。村を出る時の安全祈願、入る時の悪魔祓いとして大切にされた。

⑫今泉不動道標 真ん中の塔に九十九谷山中と是ヨリ一里と刻まれている。右の今泉不動には元禄九年と彫ってある。

⑬青木神社 建武2年
(1335)に創建、
当時の領主が一
族と領内鎮護を
目的に笠間の丘
陵地に社殿を設
けた。町を守つ



⑬青木神社



⑭笠間稲荷

てくれる神様を祀って鎮守さまと呼ばれている。笠間村の年貢米を納めておく蔵があった。昔はやぐらがあって、その中に板碑三塔と五輪塔が三墓納められていた。祭神は手力雄命、伊弉那岐命、伊弉那美命。笠間町神明社を合祀、一時鹿島神社も合祀されていたが、田立地区住民の増加で分社。残念ながら時代などは推定出来ない。階段 120 段。

⑭笠間稲荷 青木神社社務所の左側にある。設立時期は不明だが比較的新しいと思われる。

⑮二十三夜供養塔と石祠
農耕を司る月読尊
を祀った供養塔。
月待供養塔ともい
う。十五夜から八
日過ぎた二十三夜
の月は真夜中に東



⑮二十三夜供養塔と石祠



⑯御蔵坂

の空から昇ってくる。月を信仰の対象とした村人たちが、この夜、煮物田食食べ物を持って集まり、精進、勤行し飲食をともにしながら月の出を待つ行事を行った。その際の供養に建てた月待塔のひとつが二十三夜塔で村人たちが夜中まで一緒に飲食をしながら行動して絆を深めた。

⑯御蔵坂 フォルシュ1(建物表示板)前の道を下って行く。笠間村の年貢米収納蔵があった。階段 68 段。

⑰五輪塔・板碑 御蔵坂
を下って行くと
左側に祀ってあ
る。中央の五輪塔
の後ろに板碑が
ある。



⑰五輪塔 板碑



⑱四国巡礼成満記念塔

⑱四国巡礼成満記念塔

百八十八札所(西国、坂東、秩父の百観音と四国八十八霊場)巡礼記念塔。

⑲法安寺 室町時代の後期、文安2年(1445)今から570年程前に創建された。笠間山知恩院法安寺と号す。山門は創建当初からと言われている。本堂は昭和49年に建て替えられた。宗派は浄土宗。本尊は阿弥陀如来。このお寺は関係者以外立入禁止の注意書きがある。

⑳今泉不動道標 今泉不動への道標で前立不動は、鎌倉大町講中によって宝永7

年(1710)に建てられた。不動信仰の行をする人は、ここを通ってお不動さんを目指した。青面金剛像の光背の炎や飾り具が着色してあり珍しい。



⑱法安寺



⑳今泉不動道標

㉑馬頭観世音 昔は馬を農耕馬や交通手段として大切にしたので、道の辻に馬頭観世音を祀り、死んだ馬を慰めたり交通安全を祈ったりした。



㉑馬頭観世音



㉒カニ井戸

㉒カニ井戸 ごみ集積所裏の小さな水溜まりに丸い井戸の上部が道路から見る事ができる。

㉓花の木橋 この橋は珍しい柔構造で、中央部で体を揺ると橋自体がよく揺れる。花の木橋で対岸に渡る。渡って上流を歩いていると西本郷中学校の脇を通過すると、放課後などには部活のランニングがよく行われている。



㉓花の木橋



㉓花の木橋

【出所】 栄区歴史探索マップ(歴史探検帳) 戸塚くるぶ 横浜市環境創造局HP
かさマップ(かさま・つながるプラン推進会議)

ゆるキャラグランプリ 2014年 第179位



所属：横浜市栄区のマスコット、タッチーくん。

英語の Touch にかけて、栄区の豊かな自然と触れ合うという意味が込められています。可愛いしっぽをふりふり、お散歩するのが大好きです。

幼稚園や小学校の運動会やイベントによく出かけ、こどもたちに大人気です。

2015年も皆様に投票での応援をお願いします。

<http://www.yurugp.jp/>